

第4回幹部会開催される

去る平成26年12月22日に土地家屋調査士会館4階会議室において、平成26年度第4回幹部会が開催されました。出席者は、横山一夫会長，八瀬渉一・加古幸平・市川新太郎・森廣幸・阿部重雄各副会長，小沢宏幹事長，椎名勤・神寶敏夫・高野國範・永美一雄・野田清・池川晋一郎・大場英彦・佐々木健・瀧各副幹事長でありました。

冒頭，横山会長は，先の衆議院選挙の協力の御礼及び空家等対策の推進に関する特別措置法が国会において決議され，これには付帯決議が附されたことについて報告をされ会議が開催されました。

この後，報告事項から協議事項に移り各種議論を行いました。

会長からの挨拶にありますように本会議の中心は，平成26年度の運動結果並びに平成27年度の運動方針（案）及び予算（案）についての議論が主なものとなっておりましたが，最後に3. 議員連盟等推薦基準規則（案）についても議論がなされました。

報告事項及び協議事項につきましての詳細については，以下のとおりです。

第4回 全国土地家屋調査士政治連盟幹部会会議 議事録

日 時 平成26年12月22日（月）午後1時30分～午後5時

場 所 土地家屋調査士会館 会議室

出席者 横山全調政連会長

市川・加古・森・阿部・八瀬各副会長

小沢幹事長 椎名・神寶・高野・永美・野田・池川・大場・佐々木・瀧各副幹事長

《挨拶》

1. 横山会長挨拶

みなさんこんにちは。暮れの忙しい中お集まりいただきましてまことにありがとうございます。先日の衆議院議員選挙におかれましては多大なご協力をいただきまことにありがとうございました。今後は、応援させていただいた先生方にこちらからお願い等していくこととなると思います。ところで先の臨時国会において空家等対策の推進に関する特別措置法が国会において決議されこれには付帯決議が附されました。

この報告が遅れましたことにつきましてはお詫び申し上げます。

本日は短い時間となりますが、よろしくお願ひ申し上げます。

《報告事項》

1. 政治家パーティ等出席状況の確認

平成26年度における現在までの政治家パーティ等の出席状況について資料01(略)のとおり確認を行った。

2. 平成26年度第1回会長会議報告

横山会長から以下の通り総括された。

初めての会長会議ではあったがそれなりの成果が上がったものと考えている。もちろん各単位調政連会長におかれては、細かい意見はあろうかと思うが、今後それぞれの意見を生かし対応願いたいと考えている。最終議事録については、現在幹事長および各ブロック担当の法でまとめているものと思われるが、まとまり次第

発表をお願いしたい。

3. 各委員会の事業執行の確認

(ア) 総務委員会

10月8日および9日に最後の総務委員会を行った。本年度は、会長会議に全力を注いできたつもりであったが、問題がなかったものと自負しているところである。本年度の会議の回数は、3回行った。

(イ) 制度対策委員会

制度対策委員会の本年の対応についても中心は、会長会議への対応であったがこれ以外においても連合会への提案事項等も検討し最後の会議の途中、連合会と政連との正副会長会議へも参加し提言したところである。

(ウ) 組織強化委員会

組織強化委員会においても本年度の対応は、会長会議の議案等につてであったが、各単位調政連に会員の増強を図るべきパンフレット等の検討を行ったところである。来年度は、これを実行すべく検討していきたい。

《協議事項》

1. 第15回定時大会の議事について

(1) 平成26年度収入支出（見込み）報告承認の件

別紙（略）における見込み決算の確認を行った。この中、特に変更があったものについては、先の衆議院選挙が急遽行われたことから、これらの費用が支出された旨報告がなされた。

この結果、最終決算において大会に提案するものとした。

(2) 平成27年度運動方針（案）審議の件

別紙（略）の通り平成27年度運動方針（案）につき説明がなされた。

これに対し以下の意見の交換がなされた。

森副会長 組織強化について会員の増強活動の「推進」とあるが、「支援」とする方がよいと思われるがい

かがか。

- 小沢幹事長 そのように変更したい。
- 市川副会長 本文に過去（平成26年度）の情報が記載されているが、入れるべきではないのではないか。
- 阿部副会長 運動方針であるので市川副会長の意見を尊重したい。
- 小沢幹事長 そのように変更したい。
- 阿部副会長 各論の中、全公連との情報の共有化とあるが、今後もこの形態でいくことがよりよいものかどうか議論すべきではないか。
- 横山会長 平成27年度の新年賀詞交換会においても3回合同で行うことが決定している。来年度は、このままの形状を維持したい。
- 阿部副会長 了解した。
- 市川副会長 本文の中、法改正への議論とあるが各論ではどの項目になるのか。
- 横山会長 4の『関係法令の改正への情報提供の充実を図る』に当たる。
- 大場副幹事長 来年度は、会長会議を行うかどうかを今一度議論すべきではないか。
- 市川副会長 毎年行うべくテーマが存するかどうかの議論を行うべきではないか。
- 横山会長 急遽テーマを決めて行うことは本筋ではないと考える。来期は、会長会議については行わない方針でいきたい。
- 小沢幹事長 会長の意向どおりまた全会一致で来期の会長会議は行わないものとする。

この結果、一部修正の上また政治家との交流を深めることを中心に大会に提案するものとした。

(3) 平成27年度収入支出予算（案）審議の件

別紙（略）の通り平成27年度収入支出予算（案）につき説明がなされた。

これに対し以下の意見の交換がなされた。

- 高野副幹事長 ブロックの会長会議を行える体制が必要ではないか。
- 小沢幹事長 ブロックにおける長（ブロック長）をおいているブロックが存しないところが大出の無理があるのではないか。
- 大場副幹事長 来年度総務委員会においてブロックのあり方についても検討を考えている。この後の検討に願え

ればと考える。

高野副幹事長 各ブロックの現状を確認したいと考える。このためにも必要ではないか。

加古副会長 政治資金規正法の問題もあるがいかがか。

小沢幹事長 ブロックにおいて金員の管理ということになれば政治資金規正法の網にかかるものとなる。

市川副会長 規定等によりブロック長等をどのようにすること決めることは可能であるが、ブロックを組織化することになると問題が複雑になる。

横山会長 来年度は、ブロック長会議は行うべきではないと考えるので各幹部においてもこのように理解いただきたい。

加古副会長 各ブロックに廻ることはどうか。

小沢幹事長 前大会で会議に大幅な予算を付けることはいかがなものかという質問を受けた。本年度は、会長会議および新たな戦略会議等があったためこの予算を計上したが来年度に会議予算を当てることは難しいと考える。

加古副会長 各单位調政連から要望があった場合に対応するという事で了解した。

この結果、一部修正の上大会に提案するものとした。

(4) 全国土地家屋調査士政治連盟役員改選（案）審議の件

役員選任管理委員会の組成およびその委員について別紙（略）のとおり報告がありこれを全会一致で了承した。

なお、委員会会議日程については、会長一任とすることとした。

2. 第15回定時大会及び同懇親会の運営等について

(1) 第15回定時大会の運営について

議長予定者：九州ブロックから選出するものとし、野田副幹事長に一任するものとした。

議事録署名予定者：関東ブロックおよび北海道ブロックから選出するものとし、椎名幹事長代理および大場副幹事長にそれぞれ一任することとした。

それ以外の各担当者については、総務委員会において腹案の提示を時期幹部会までにまとめていただき、

時期幹部会において承認とすることとした。

(2) 第15回定時大会懇親会の運営について

司会者については、池川副幹事等とする。司会者のサポートについては、小沢幹事長が行うものとする。それ以外の各担当者については、総務委員会において腹案の提示を時期幹部会までにまとめていただき、時期幹部会において承認とすることとした。

3. 議員連盟等推薦基準規則（案）について（継続）

議員連盟等推薦基準規則（案）について以下のとおり説明がなされた。

議員連盟等への推薦基準につき必要な事項を決めたものである。内容は、推薦基準およびその方法を決定したものである。

この施行日は、平成26年12月23日とする。

この結果、字句等の修正があった場合は、幹事長に一任することとし、全会一致で承認がなされた。

4. その他

椎名幹事長代理から空家等対策の推進に関する特別措置法における付帯決議については、取り急ぎ対応すべきではないかとの意見が寄せられた

これに対し政治連盟においても情報の収集を急ぎ対応を行うものとした。

以上を行い午後5時に終了した。